

まえばし 市議会だより

No.166

2024・2

前橋市議会発行



— 主な内容 —

- 第4回定例会の概要…………… P.2
- 会派別の質問事項…………… P.2～3
- 総括質問…………… P.4～10
- 議案の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

議場に美しい歌声とすばらしい音色

第4回定例会の初日と最終日に、議場コンサートを開催しました。初日の開会前には、大胡東小学校おおぞら合唱団の皆さん（写真上）の美しい歌声が議場に響きわたり、最終日の開議前には、第七中学校吹奏楽部の皆さん（写真下）による、すばらしい演奏が披露されました。（出演者の感想を3ページに掲載）



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

一般会計補正予算などを可決

会派別の質問事項

昨年、十一月二十九日から十七日間の会期で第四回定例会を開き、「令和五年度一般会計補正予算」など市長提出議案三十八件、意見書案十件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（11月29日）

開会前にNHK全国学校音楽コンクール県大会で金賞を受賞した大胡東小学校おぞら合唱団の皆さんによる議場コンサートを開催し、「赤城嶺に」や「想い出がいっぱい」など、美しい歌声が議場に響きわたりました。コンサート終了後、阿部議長の宣告により第四回定例会を開会し、会期を十二月十五日までの十七日間と決め、三人の会議録署名議員を指名しました。



議場で多くの議案を審議

次に、「令和五年度一般会計補正予算」など三十四件の市長提出議案を上程し、所管の部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（12月6日）

上程中の議案や市政に対し、十一人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4頁、10頁に掲載）

○第3日（12月7日）

前日に続き、十一人の議員が総括質問を行いました。

○第4日（12月8日）

七日に続き、六人の議員が総括質問を行いました。

次に、上程中の議案三十四件について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から「令和五年度一般会計補正予算」など四議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決及び承認しました。（議決結果は11頁に掲載）

次に、選挙管理委員及び補充

員の選挙が行われ、委員に栗木信昌さん、小磯正康さん、平方宏さん、高井智子さん、補充員に宮寄文恵さん、木村由美さん、過外章道さん、望月和子さんが当選しました。

○第5日（12月15日）

開議前に吹奏楽コンクール県大会で銀賞を受賞した第七中学校吹奏楽部の皆さんによる議場コンサートを開催し、「マーチ・グリーン・フォレスト」や「川の流れのように」などのすばらしい演奏が披露されました。

続いて、本会議に入り、人事議案など四件の市長提出追加議案を上程し、採決を行った結果、いずれも同意及び可決しました。次に、意見書案十件を上程し、採決を行った結果、「認知症との共生社会の実現を求める意見書」など四件を可決しました。（可決した意見書の要旨は12頁に掲載）

最後に、市長から挨拶があり、第四回定例会は閉会しました。

□前橋令明

- ① 不登校特例校
- ② 学校運営
- ③ 職員の働き方
- ④ 市有施設の有効活用
- ⑤ 第八十三回国民スポーツ大会
- ⑥ (仮称)前橋空襲と復興資料館
- ⑦ 土地区画整理事業
- ⑧ デジタル化
- ⑨ 教育行政
- ⑩ 移住定住
- ⑪ 創業支援
- ⑫ デジタルサポート課設置
- ⑬ フードパントリー事業
- ⑭ 学校教育
- ⑮ シェアサイクルコグベ
- ⑯ 県外に通学する大学生の交通費補助
- ⑰ 地域の諸課題
- ⑱ 公園
- ⑲ 農業政策
- ⑳ 教育環境
- ㉑ 都市間交流
- ㉒ 交通安全対策
- ㉓ 企業動向
- ㉔ まえばし医療センター
- ㉕ 歴史的建造物の保全支援
- ㉖ 広告収入
- ㉗ 消防同意事務
- ㉘ 通信指令設備の維持管理
- ㉙ 自治会
- ㉚ 社会活動への支援
- ㉛ 防災協定
- ㉜ 道の駅まえばし赤城
- ㉝ アーツ前橋

□前橋高志会

- ① 本市の財政運営
- ② ごみと資源化処理の業務
- ③ 本市の道路整備
- ④ 県道苗ヶ島飯土井線の波志江スマートインターチェンジまでの延伸による本市への効果や活用
- ⑤ 施設園芸農家に対する支援
- ⑥ スポーツ振興
- ⑦ 出産子育て支援
- ⑧ まちづくり
- ⑨ 消防施策
- ⑩ インフルエンザ予防接種事業
- ⑪ デジタル共生社会

第七中学校吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、とても仲がよく、みずから積極的に練習に取り組んでいます。合奏で気づいた改善点を意識して、よりよい演奏ができるように心がけています。本番は緊張しましたが、コンクールの時のような雰囲気味わえて楽しかったです。



よりよい音楽を
届きたい
二年 小林 夢乃さん

議場コンサート

大胡東小学校おおぞら合唱団

おおぞら合唱団は、団員全員が仲のよい最高の合唱団です。今まで先生に言われてきたことを思い出し、意識して歌うこと、そして楽しく笑顔で歌うことを心がけています。本番ではたくさんの議員さんがいて緊張もしたけれど、全力でこの歌を届きたいという気持ちで歌いました。



全力でこの歌を
届きたい
六年 石橋 咲希さん

- ⑫地域の諸課題 ⑬市政の課題
- 日本共産党市議団 ①学校給食費の完全無償化 ③会計年度任用職員の処遇改善 ④第九期介護保険事業計画 ⑤住宅リフォーム補助制度の拡充 ⑥前橋市DX推進計画の問題点 ⑦まえばし暮らしテック推進事業の問題点 ⑧電子地域通貨めぶくPayの問題点 ⑨公共交通の充実 ⑩暮らし応援の市政への転換
- 公明党市議団 ①今後の交通政策 ②歴史的景観の復元 ③まえばし暮らしテック推進事業 ④地域幸福度指標 ⑤子育て支援 ⑥農業政策 ⑦文化財 ⑧地域包括ケアシステム ⑨COPD重症化予防の推進 ⑩肺炎予防対策 ⑪学びの保障の取組 ⑫三Rの推進
- かがやき ①高齢化社会における公共交通 ②創業支援と移住政策 ③地域の諸課題 ④通学路の安全対策 ⑤歯と口腔の健康 ⑥二〇二四問題と働き方改革 ⑦二〇二五問題及び二〇四〇問題と人生百年時代 ⑧みずき中地区の諸課題 ⑨教育施策 ⑩子育て施策 ⑪主催者イベントの充実 ⑫アーツ前橋
- 市民フォーラム ①防災 ②教育行政 ③環境 ④農業、酪農の状況 ⑤居住実態 ⑥前橋版電子地域

高校生模擬議会を開催

令和五年十二月十八日に前橋市立前橋高等学校の探究学習（主催者教育）の一環として、二年生の皆さんによる模擬議会が議場で開催されました。模擬議会では、生徒が議長として議事を進行し、高校生ならではの視点から十八名の生徒が代表質問を行い、所管の部長などがこれに答えました。

また、模擬議会の開催に先立ち、十一月十六日に高校の授業へ十三名の議員が参加し、代表質問の基となる各クラスのマニフェストなどへ助言を行いました。



事前授業



模擬議会

- 通貨めぶくPay ⑦前橋市児童文化センターへの企業や団体からの寄附 ⑧水銀灯からのLED化 ⑨消防力の維持向上 ⑩空き家対策
- さきがけ赤城 ①ザゼンソウの保護 ②有害鳥獣の被害対策 ③電気自動車の充電設備整備
- なないろ ①学校教育 ②子育て支援 ③道の駅まえばし赤城
- 赤利根 ①交通政策 ②めぶくアプリ ③中心市街地
- 七星 ①農業行政 ②産業経済行政 ③前橋南部の課題

<p>【委員会行政視察】 所管事務について調査するために県外行政視察を行いました。 ※委員会名、期間、視察先及び調査事項は以下のとおり</p>
<p>ICT利便性向上調査特別委員会 令和5年10月16日～17日 石川県野々市市：地域ICTプラットフォーム「結ネット」の活用 石川県金沢市：DXの取組状況</p>
<p>議会運営委員会 令和5年10月30日～31日 三重県四日市市：オンライン委員会の開催等 大阪府八尾市：常任委員会の所管事務調査等</p>



前橋令明
須賀 博史



学びの多様化学校の設置を

〈問〉不登校特例校改め、学びの多様化学校の設置には非常に意義があると思いますが、市長の見解を伺います。

〈答〉子どもには居場所が必要です。それは決して学校だけでなく、その居場所の中で自分を導いてくれる同士、いろんな導き手にその子どもの未来を引っ張ってもらえる出会い、それが勉強だけでなく、いろんな学びの場所がある。それが私たちの新しい教育の場づくりだろうと思っておりますので、ここに向かって新しい子どもの居場所を作っていくという決意です。

旧第二中学校跡地の活用

〈問〉令和三年度に解体された旧第二中学校跡地の①現状②今後の活用策について伺います。

〈答〉①敷地の東側の約四千八百平方メートルについては、児童文化センターの繁忙期の来場者用臨時駐車場として利用しているほか、職員駐車場として有償貸し付けを行っています。中央から西側の約九千平方メートルについては、前橋まつりなどイベント時の臨時駐車場として

の利用、また公共工事の資材置き場などに有償での貸し付けを行っています②地元要望なども踏まえ、地元自治会との協議を進めていきたいと考えています。



前橋令明
小岩井 僚太



中学校の部活動

〈問〉中学校の部活動について、教育委員会は子どもたちの興味関心に応じた多様な活動を選択できるように取組の実施を示していますが、今後どのように実施していくのか伺います。

〈答〉今後休日の部活動について、子どもたちが学校で所属している部活動に限らず、さまざまな活動に参加できるように環境を整えていきます。そのような中で、関係部署や関係団体とも連携し、休日におけるスポーツ教室や文化活動の場を紹介するなどの取組を進めていきたいと考えています。

公共施設予約システム

〈問〉令和五年十一月から中央公民館で公共施設予約システムが稼働しましたが、①主な機能が②導入の効果③今後の取組について伺います。

〈答〉①予約の申し込みや使用料のキャッシュレス決済機能な



スマホから公共施設を予約

どがあります②予約から決済までウェブ上で行えるため、利用前に窓口を訪問することなく施設が利用できることなどです③地区公民館などへの展開を図ります。また、部屋の管理がシステム上で行えるため、鍵の受け渡しを必要としないキーレス化も目指したいと考えています。



前橋令明
小淵 一明



学校教育の充実のための取組

〈問〉近年の夏の猛暑への対応など、各学校が諸問題を解決し、学校教育を充実させていくために、今後どのような取組をしていくのか伺います。

〈答〉子どもたちが安全な環境で健やかに成長し、その子どもたちのために教職員が生き生きと働くことができる学校となるような施策が必要です。具体的には、子どもたちの命を守る観点から夏休みの日程を見直す方

向です。また、長期休みの日程を見直すなど過剰な授業時間数を削減することで、教職員のゆとりを確保し、子どもたちと向き合う時間を生み出していくことができると考えています。

東片貝町の冠水対策

〈問〉東片貝町の阿部鉄工所跡地付近で多発している雨天時の冠水対策について伺います。

〈答〉下流にある農地の取水のため堰板を設置しており、農繁期の用水路は満水です。堰板を撤去すると取水できないため、対策として手動で水量調整ができるような水門の設置を検討しています。今後は関係部署と連携し、下流域の耕作状況を把握しながら農業用水量の調整を地元と協議するなど、有効的な対策を検討したいと考えています。



前橋令明
堤 波志芽



公園愛護会の負担軽減を

〈問〉近隣住民で組織されている公園愛護会では、高齢化や担い手不足に伴い、愛護会の存続や公園の維持管理がたいへんだという声を耳にします。愛護会の負担軽減のための①現状②民間活力の導入について伺います。

〈答〉①各種除草機械の貸し出

しなどを実施しています。また、中高木の剪定などを市で行うとともに道路清掃車を活用した落ち葉収集の負担軽減策も研究しています②本市SDGsパートナー制度を活用し、登録されている事業者などへ呼びかけを行い、地域との連携による公園美化の取組を進めています。

旧町名の表示計画

〈問〉本市の歴史まちづくり計画では、令和六年度から実施予定のヒストリックランドマーク整備の中で、旧町名の表示についても計画していることと思いますが、内容と進め方について現時点での考え方を伺います。

〈答〉街なかの老朽化した案内板を対象に、旧町名の由来や地図を記した板面への更新などを計画しています。今後歴史まちづくり協議会で専門部会を組織し、専門家や自治会の意見を参考に、整備対象となる旧町名や場所を検討していく予定です。



前橋令明
佐藤 祥平



まえばし医療センター

〈問〉夜間急病診療所の移転に伴い、休日歯科診療所の機能を併せ持ったまえばし医療センターが令和六年四月に開院予定です

すが、その特徴を伺います。

〈答〉設備面では、感染症対応用の診察スペースなどを設けるほか、百五十台程度の駐車可能な駐車場を整備します。運用面では、休日当番医の一部を夜間休日診療所で実施する、いわゆる休日当番医のセンター化を小児科などで実施することで調整しており、これにより混雑の解消など市民の利便性向上が図られるものと考えています。

旧春日中学校の跡地活用

〈問〉旧春日中学校の跡地活用については、事業提案型公募が優先交渉権者に決定したと聞いていますが、その選定に至った経緯について伺います。

〈答〉旧春日中学校は都市計画法上の制限がある市街化調整区域内に立地しており、応募者が少ないことも予想されたため、積極的に情報発信を行いました。応募申込期限までに企画提案書を提出したのは二者でしたが、一次審査を経て令和五年十一月二十二日に実施した二次審査で優先交渉権者が選定されました。



前橋令明
市村 均光



効果的な不登校支援を

〈問〉不登校支援は学校現場だけではなく、教育支援教室やフリースクールなどの学校以外の居場所との連携が重要であると考えますが、そのためには、利用しやすい環境整備が重要になると思います。特に経済的に厳しい家庭については、交通費や利用料の捻出が難しいことが考えられ、こうした家庭への支援が連携を促進させ、より効果的な不登校支援につながると考えますが、見解を伺います。

〈答〉これまで調査してきた取組を参考に、経済的理由で学校外の不登校支援施設の利用が困難な家庭に対し、交通費の補助を行うことを計画しています。

除草機械貸し出し場所の増設

〈問〉公園緑地愛護会への支援策である除草機械の貸し出しは、現在、貸し出し場所が敷島公園のばら園管理事務所のみであることから、城南地域の公園緑地愛護会にとっては遠く、負担が大きい状況です。貸し出し場所の増設など、利便性向上についての見解を伺います。

〈答〉新たに大室公園に貸し出

し用としての乗用草刈り機の配置を検討するなど、市内全域からの貸し出し要望に対応できるように努めていきます。



前橋令明
鈴木 俊司



アーツ前橋の開館十周年記念展

〈問〉アーツ前橋は令和五年十月で開館十周年を迎えましたが、現在開催している記念展の①内容②反響について伺います。

〈答〉①タイトルを、ニューホライズン歴史から未来へ、として、これまで市民とともに歩んできた文化芸術活動を土台に、次の十年に向け変容する都市におけるアーツとミュージアムの新たな可能性を開いていくとのコンセプトが込められています。開催期間は、令和五年十月十四日から令和六年二月十二日までで、アーツ前橋をメイン会場に、街なかの全六会場などを展示会場として、海外八か国十一人、国内十九人のアーティスト作品を展示しています。また、十月二十七日からの三日間、群馬県昭和庁舎を使った大型プロジェクトアクションマッピングを実施しました②平日、週末ともに多くの人に来てもらっており、アーツ前橋以外の会場も観てもらっ

※行数は発言時間に比例しています

とで、記念展を目的とした新たな客層を含めた皆さんに街なかも回遊してもらっています。また、来場者アンケートによると、前橋市民だけでなく、市外県外からも来館しており、企画内容や対応など、全ての項目で好意的な評価をもらっています。



前橋高志会
金井 清一



単位老人クラブ

〈問〉単位老人クラブ数の減少傾向が続いていることを心配していますが、①令和四年度に補助対象となったクラブ数②市として検討している対策について伺います。

〈答〉①百七十七クラブであり、令和三年度と比較して四十二クラブの減となっています②市老人クラブ連合会から、会員数をおむね三十名以上としている補助要件の見直しを要望されています。類似都市の取り扱いなども参考に、人数要件を緩和することで引き続き単位老人クラブが維持できるように、また補助金を受けられるように検討しています。

亀泉清掃工場跡地

〈問〉亀泉清掃工場は令和二年三月末で閉場となり、約三年半



亀泉清掃工場跡地

経過しましたが、その跡地の今後の活用について伺います。

〈答〉複数の民間企業から有効活用についての問い合わせがあり、利活用については地元自治会や関係団体などの意見を参考にしながら、引き続き検討、研究していきたいと考えています。



前橋高志会
笠原 久



個人市民税の収入見通し

〈問〉令和六年度の個人市民税収入について、どのように見通しているのか伺います。

〈答〉令和六年度の税減収につながる要素は複数ありますが、景気回復基調を背景に、給与所得や営業所得などに伸びが見られ、総所得金額などで増加傾向が示されているため、現時点では令和五年度の当初予算に対し、大幅ではないものの増収になると見込んでいます。

生活道路の取組

〈問〉緊急車両の通行が困難な

道路が数多くありますが、狭隘な生活道路の整備は防災上、重要であると考えます。生活道路の取組について、当局の考え方を伺います。

〈答〉整備に当たっては自治会から要望をもらい、関係者へ説明会を行い、用地買収や道路整備などに理解が得られた箇所から事業を進めています。狭隘な生活道路の整備は、引き続き国の交付金事業である狭あい道路整備等促進事業などを活用し、整備を進めていきたいと考えています。



前橋高志会
山田 秀明



デジタルサポーターの活動予定

〈問〉デジタルサポーターの今後の活動予定について伺います。

〈答〉現在ほとんどの自治会にタブレット端末が配付されたほか、電子地域通貨めぶくPayの準備も進められ、これらに対応できるように、資質向上を図るための研修会を実施する予定です。そのうえで、現在二週間ごとに実施しているデジタルよろず相談所は毎週実施に拡大するとともに、引き続き地域での

勉強会などに対する学び合い出張サポーターを積極的に展開していきたいと考えています。

農用地に面する道路の舗装

〈問〉大胡、宮城、粕川地区の農用地はいまだに舗装されていない道路が見えられ、ゲリラ豪雨により、営農に支障が出ないか心配されています。農用地に面する道路の舗装要望数と整備状況について伺います。

〈答〉令和四年度は五件の要望があり、四件が整備中です。令和三年度は四件の要望があり、一件が整備済み、二件が整備中です。令和二年度は十件の要望があり、七件が整備済み、三件が整備中となっています。



前橋高志会
富田 公隆



文化施設や史跡の活用

〈問〉県道苗ヶ島飯土井線は延伸により赤城山観光のメイン路線と期待され、本市東部地域での赤城山観光誘客が見込まれる中で、沿線の文化施設や史跡の今後の在り方について伺います。

〈答〉今までは保全、修繕にとどめてきましたが、活用のステージに入るべきだと考えます。活用には一定の担い手が必要で、そこに向かっていくべき時期に

来たと感じています。

周辺自治体との連携

〈問〉県道苗ヶ島飯土井線の波志江スマートインターチェンジ接続を契機に、北関東自動車道沿線他市との交流や連携がスムーズになるので、伊勢崎市を含めた地の利を生かした広域的なまちづくりをデザインしていく必要があると思われませんが、今後の広域連携についてどのような考えを持っているのか市長に伺います。

〈答〉事業効果を期待して県が行なった事業に対して、投資には必ずリターンがあるべきだと思っております。周辺自治体と連携していきます。



前橋高志会
小曾根 英明



スポーツ施設の改修について

〈問〉市スポーツ施設の①熱中症対策としての空調整備②障害者などに配慮したバリアフリーの推進③トイレの洋式化の改修状況について伺います。

〈答〉①市民体育館、大渡体育館、宮城体育館は既に整備され、令和六年度は日吉体育館を整備する予定です②大規模改修時にスロープの設置や多目的トイレの整備を行っており、令和六年

度は日吉体育館にエレベーターを整備する予定です③施設全体の六〇%の改修が終了し、引き続き計画的に進めていきます。

出産子育て支援について

〈問〉伴走型相談支援の①現状②今後の展開について伺います。

〈答〉①妊娠届出時と出産後の面談及び妊娠八か月頃の状況確認により相談支援を行っています②相談だけにとどまらない産後ケアや産後ヘルパーなどの直接的な支援サービスや両親学級、離乳食講習会などの健康教室が有効であると考え、積極的に取り組んでいます。妊娠から子育て期における寄り添った支援を更に進めていきます。



日本共産党市議団
近藤 好枝



第九期介護保険事業計画

〈問〉介護保険制度発足から二十三年が経過し、保険料は当初の二倍になり、少ない年金からの保険料負担は限界に達し、生活は苦しくなっています。本市は介護保険料の引き下げを決断し、現在の第一、第二段階の対象となる所得階層の人は免除とし、所得段階別設定も細分化す

べきです。また、利用料負担が重いために必要な介護サービスが受けられない高齢世帯には、利用料の独自減免を実施すべきと考えます。第九期介護保険事業計画における①介護保険料②利用料について見解を伺います。

〈答〉①国の検討結果を参酌し、介護給付費準備基金の活用も視野に入れ検討します②独自減免の基準や実施について、じゅうぶん精査し進めたいと考えます。



日本共産党市議団
長谷川 薫



地方自治制度の再編

〈問〉行政のデジタル化を国に言われるまま進めれば、福祉など市独自の住民サービスは弱まり、国への集権化や公共サービスの提供が民間営利企業に分散されるなど、地方自治が後退する危険があります。自治体は窓口業務を含め地域の実情に応じた住民を相手とする対人サービスを提供していますが、行政手続きのオンライン化や生成AI、ロボットの活用で窓口業務の縮小が進めば、住民の人権を守る機能が失われる恐れもあります。このような地方自治制度再編の動きへの見解を伺います。

〈答〉法令に基づく業務の帳票

や業務プロセスなど統一化が図られますが、各自治体の独自のサービス実施が妨げられるものではないと認識しています。



日本共産党市議団
吉田 直弘



学校給食費無償化の実施

〈問〉給食費の完全無償化をする自治体が拡大しています。本市では第一子が十八歳以下の子どもがいる家庭の第三子から給食費を無償化していますが、多額の財政負担が生じ、他の優先すべき施策があることを理由に無償化拡充の願いに背を向け続けてきました。①当局は、令和六年度に無償化の対象を拡充する考えはあるのか②市長は、マニフェストにおける完全無償化をどのように実施するのか見解を伺います。

〈答〉①多額の財政負担を伴い、共同調理場の老朽化への対応などを踏まえると、現状では厳しいと考えます②実施に向かつて



学校給食

取り組んでいきたいと思えますので、詳細を報告できる日が来ることを期待しています。



日本共産党市議員
小林 久子



大型開発の見直し

〈問〉本市は財政の厳しさを強調し、給食費無償化や高齢者施策などの市民要望に背を向けながら、中心市街地の再開発や道の駅などの大型開発を次々と推進してきました。一方、市営住宅の空き部屋解消策や生活道路の安全対策、老朽水道管対策など生活密着型の公共事業は後回しで、維持管理予算がじゅうぶんに確保できず市民の安全安心が脅かされています。大型事業を見直し、市民要望に基づく暮らしや福祉施策の充実、生活密着型の公共事業に切り替えるべきと考えますが見解を伺います。



公明党市議員
中里 武



マイタクの補助拡充

〈問〉マイタクの補助拡充につ

〈答〉第七次前橋市総合計画を軸に各種施策を進めており、優先度を総合的に見極めながら、財政状況と施策のバランスの取れた市政運営が重要と考えます。



マイタクの利用の様子

いて、制度設計やタクシートの相乗り促進のためのアンケート調査、実証実験、本格運行へのスケジュールを伺います。

〈答〉全市域での遠距離移動に対する支援の拡充や相乗り利用促進のためにインセンティブを付与するなど、さまざまな施策を比較し検討をしています。令和五年度中に制度設計を完了し、利用者アンケート調査などを行い、令和六年度に地域限定で先行導入後、全市域で実施できるように進めたいと考えます。

歴史的景観の復元

〈問〉風情を感じる旧前橋駅舎復元と前橋らしい駅北口広場再整備への市民意識や財源の課題に対し、市長の思いを伺います。

〈答〉旧前橋駅舎復元は観光資源である以上に市民の誇りにつながるもので、歴史まちづくり事業で認定されたことを弾みに進めたいと思います。財源は国や寄附、ふるさと納税、さまざまなチャンネルで財政負担を軽減し取り組みたいと思えます。

減し取り組みたいと思えます。



公明党市議員
高橋 照代



RSウイルス感染症の周知

〈問〉高齢者を対象とした国内初のRSウイルスワクチンが承認され、ワクチン接種による肺炎予防対策への期待が高まっていますが、問題はRSウイルスの認知度が低いことです。①市民へRSウイルス感染症を広く周知啓発する取組②RSウイルスワクチンの予防接種を促進、啓発する取組について伺います。

〈答〉①他の感染症と併せて、感染対策を市のホームページなどで周知したいと考えています②ワクチンは承認されたばかりで販売開始時期も未定のため、効果や安全性を確認するとともに、国の動向を注視し啓発の在り方を研究していきます。

ペットボトル専用回収ボックス

〈問〉民間事業者と連携し、市民のリサイクルの意識向上や行動変容を促すようなペットボトル専用回収ボックスの設置について見解を伺います。

〈答〉地域通貨めぶくPayを活用したポイント付与型の専用回収ボックスの導入について検討を進めたいと考えています。



公明党市議員
石塚 武



地域幸福度指標

〈問〉地域幸福度、ウエルビーイングは、デジタル庁が活用を推進しており、閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針二〇二三にも地方自治体におけるウエルビーイング指標の活用の促進が明記されています。今後、指標の活用が進み、地方自治体のまちづくりにおいても指標の考え方は重要になると考えます。本市における地域幸福度、ウエルビーイング指標の活用現状と今後の取組を伺います。

〈答〉無作為抽出した二十歳以上の市民へウエルビーイングに関するアンケート調査を実施し、デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に関する中長期的な成果測定に備え、地域幸福度の可視化に努めています。現在、各政策分野を所管する課長を対象にウエルビーイング指標に関する政策デザイン研修を実施しています。今後は実務担当者向けの研修を実施し、全ての分野で指標を活用した政策立案ができる体制の構築を考えています。





かがやき
浅井 雅彦



済生会前橋病院

〈問〉済生会前橋病院は、本市にとつて間違いなくたいへん必要な病院であると確信しています。今後も国や県、更に関係機関などと連携しながら支援していく必要があると感じています。が、見解を伺います。

〈答〉本市の市民病院でもある済生会前橋病院を支援する方法を、いろいろな形で検討していきたいと思っています。済生会前橋病院、前橋赤十字病院、前橋協立病院が一本で結べるような新しい仕組みの中で、病院運営を応援できるあらゆる観点から進めていきたいと思えますし、県に対しても要請していきたいと思っています。



かがやき
岡田 修一



わんわんパトロール

〈問〉地域住民が生徒の登下校時間帯に犬の散歩と一緒に地域のパトロールを行うことで、生徒や児童の安全対策につながると思われませんが、わんわんパトロールの実施について、見解を伺います。

〈答〉現在、自治会が中心となって、自主的に「まちの安全ひろげたい」として防犯活動が行われています。その一環として、わんわんパトロールを実施することで、児童生徒の安全対策につながり、安全、安心なまちづくりが進んでいくと考えます。

この活動の支援として、パトロール用品の防犯ベスト、帽子、腕章の貸与を行っています。



かがやき
宮崎 裕紀子



アーツ前橋と学校現場の連携

〈問〉遠足や社会科見学でアーツ前橋に行く、また部活動の地域移行という観点から、アーツ前橋と学校現場の連携について今後の取組を伺います。

〈答〉希望する先生を対象にアーツ前橋で研修会を行い、子どもたちにアーツ前橋の魅力を伝えられるような取組を実施します。部活動の地域移行に関わる活動の場の一つとして、これからも積極的に連携していきます。

英語イベントの今後の取組

〈問〉図書館のイベントで突出して人気なのは英語のおはなし会です。回数を増やしていくなど充実を図るべきと考えますが、今後の取組について伺います。



子ども図書館の英語のおはなし会

〈答〉前橋こども図書館において、英語のおはなし会を年十回ほど実施していますので、定期開催の情報を引き続き広く周知するとともに、ボランティア団体の育成、協力を得て、回数をなるべく増やせるように努力したいと思えます。



市民フォーラム
大澤 智之



個別避難計画の作成

〈問〉個別避難計画は、災害時にみずから避難することが難しいひとり暮らしの高齢者や要介護者などの避難行動を、あらかじめ本人や家族と確認し、一人一人の状況に合わせて作成する計画です。災害対策基本法の改正に伴い、個別避難計画の作成は努力義務化されましたが、本市における作成の状況、より実効性の高い計画作成に向けた課題や今後の取組方針を伺います。

〈答〉令和五年十月末時点で、



市民フォーラム
角田 修一



児童文化センターへの寄附

登録者八百六十一名の全てが個別避難計画を作成済みです。これまで登録者の情報共有を地域の支援者間のみで行うことが多く、行政との連携がふじゅうぶんであり実効性に一部課題がありました。新たに消防局と連携し、火災予防運動に合わせ登録者を戸別訪問し、現状を聞き取ることで登録者の状況を直接確認でき、地域の支援者へフィードバックすることが可能となるため、より実効性の高い個別避難計画になると考えます。

〈問〉前橋市児童文化センターは子どもたちの科学や文化芸術への理解と関心を深め、心身の健全な育成を図るために設置された学びと遊びの活動交流拠点です。令和五年度は、ゴーカートの寄贈や児童文化センター前の佐久間川に設置されている水車、小水力発電装置の修理工事一式の寄附など、企業や団体から多くの支援がありました。が、児童文化センターへの寄附による寄与について見解を伺います。

〈答〉長い間多くの皆さんから子どもたちの体験や学習をサポート

総括質問



復旧した水車

トする物品の寄附があり、子どもの健やかな成長につながっています。また、小水力発電装置の修理一式の寄附では、水車が復旧し、環境教室での活用が可能となったうえ、環境啓発にも有益であるなど、寄附による教育効果は大きいと考えます。

LEDの設置状況

〈問〉前橋大島駅の通路の水銀灯は、令和六年度にLEDに取り替えるということですが、市が管理する他の駅の通路についてLEDの設置状況を伺います。

〈答〉駒形駅はLEDランプを設置していますが、他の駅前広場は水銀ランプの道路照明灯を設置しています。令和五年度は国の補助金を活用し、前橋駅南口の約半数をLEDランプへ交換する工事を実施しています。



さきがけ赤城
近藤 登



〈問〉熊が住宅地に出没した際の対応
全国で熊による人身被害

が過去最多と新聞やテレビで報道されています。熊が住宅地に出没した際に備え、日頃から関係機関と連携して被害防止に必要な対策を講じ、市民の安全を第一に確保する必要がありますが、対応を伺います。

〈答〉不測の事態に備え、警察や猟友会などの関係機関と緊密に協力し、連携するほか、全庁的な体制を敷き、対応していきます。また、森林などの人けの少ない場所に対応している対策である現地パトロールなどに加え、庁内関係各課と連携し、防災無線の活用や自治会への情報提供を行うとともに、警察と連携した交通規制や、地元消防団と連携したパトロールを実施していきます。



なないろ
入澤 繭子



ウクレレに親しむ教育

〈問〉ゼファーというウクレレは、国内のウクレレ業界のシェア八〇%を占める、市内にある三ツ葉楽器株式会社のオリジナルブランドです。子どもたちが地元で生産された楽器を授業の中で活用し、本市への誇りを胸に豊かな情操を培うことは、たいへん価値のあることだと考え

ます。生産量日本一だけではなく、ウクレレに親しむ子どもたちの質や数も日本一を目指す教育の取組について、伺います。

〈答〉部活動の地域移行の取組の一環として、ウクレレに触れ、親しむ機会を創出することは子どもたちにとってたいへん有意義なことと考えます。子どもたちの豊かな情操を培う文化活動の機会を増やす取組をこれから検討していきたいと考えます。



赤利根
正己



店舗の事業承継に対する支援

〈問〉近年、中心市街地では多くの店舗の開業により、街なかのにぎわいが増す一方、店主の高齢化などで廃業していく店舗も見られます。事業承継などにより、空き店舗にならないよう対策が必要と考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉現在、前橋市まちなか既存店支援補助金により、事業承継を機会に行う改修工事などの費用の二分の一を上限額百万円で補助しています。一方、空き店舗を作らないためには、補助制度のようなハード面だけではなく、後継者を募集する広告宣伝を後押しするなどソフト面の

支援も必要と考えます。引き続き情報収集を行いながら、事業承継に対する有効な支援策を講じていきたいと考えています。



七星
中林 章



地域未来投資促進法の活用

〈問〉平成二十九年に施行された地域未来投資促進法は、企業立地促進法の一部改正により、地域事業者に対して相当な経済的効果を及ぼす、いわゆる地域経済牽引事業を促進する狙いで成立されていますが、この促進法の取り扱いについて伺います。

〈答〉地域未来投資促進法では、企業みずからが地域経済牽引事業計画を策定して県から承認を受けた場合、税制優遇などのさまざまな支援措置が受けられるほか、規制の特例措置として、県の同意を得た場合には第一種農地も転用可能です。この促進法の活用には産業振興につながる高い可能性を感じていますので、その活用を念頭に、さまざまな手段を駆使して企業立地を推進したいと考えています。



議案の議決結果

第4回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

議案	件名	議決結果
第142号	令和5年度前橋市一般会計補正予算	可決(多数)
第143号	令和5年度前橋市国民健康保険特別会計補正予算	可決(全員)
第144号	令和5年度前橋市競輪特別会計補正予算	可決(全員)
第145号	令和5年度前橋市介護保険特別会計補正予算	可決(全員)
第146号	令和5年度前橋市産業立地推進事業特別会計補正予算	可決(多数)
第147号	令和5年度前橋市水道事業会計補正予算	可決(全員)
第148号	令和5年度前橋市下水道事業会計補正予算	可決(全員)
第149号	令和5年度前橋市農業集落排水事業会計補正予算	可決(全員)
第150号	前橋市一般職の職員の給与に関する条例等の改正について	可決(全員)
第151号	前橋市特別職の職員の給与に関する条例及び前橋市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について	可決(多数)
第152号	前橋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の改正について	可決(全員)
第153号	前橋市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について	可決(多数)
第154号	前橋都市計画事業六供土地区画整理事業に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全員)
第155号	前橋市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の改正について	可決(全員)
第156号	前橋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正について	可決(全員)
第157号	前橋市休日歯科診療所の設置及び管理に関する条例の制定について	可決(全員)
第158号	前橋市夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例の改正について	可決(全員)
第159号	前橋市国民健康保険税条例の改正について	可決(全員)
第160号	前橋市千代田町中心拠点地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	可決(全員)

議案	件名	議決結果
第161号	前橋市道路占用料徴収条例の改正について	可決(全員)
第162号	前橋市公共物使用等に関する条例の改正について	可決(全員)
第163号	前橋市準用河川流水占用料等徴収条例の改正について	可決(全員)
第164号	前橋市火災予防条例の改正について	可決(全員)
第165号	前橋市立学校設置条例の改正について	可決(全員)
第166号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋市民体育館ほか)	可決(全員)
第167号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋総合運動公園の公園施設ほか)	可決(全員)
第168号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋市しきしま老人福祉センターほか)	可決(全員)
第169号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋市地域活動支援センターこころほか)	可決(全員)
第170号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋市多機能型事業所こころ)	可決(全員)
第171号	物品の購入について(高規格救急自動車)	可決(全員)
第172号	物品の購入について(消防ポンプ自動車ぎ装)	可決(全員)
第173号	前橋文学館収蔵庫増築用地として購入した土地における地中障害物の除去等に関する損害賠償請求に係る和解について	可決(全員)
第174号	建物及び土地の売払いについて(旧前橋高等職業訓練校本校舎等)	可決(全員)
第175号	公平委員会の委員の選任について(山田 謙治氏)	同意(全員)
第176号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について(増田 智之氏)	同意(全員)
第177号	令和5年度前橋市一般会計補正予算	可決(全員)
第178号	前橋市戸籍手数料条例の改正について	可決(全員)

報告	件名	議決結果
第8号	公園管理の瑕疵による事故に係る損害賠償の額の決定の専決処分について	承認(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(○賛成、●反対)

議案番号	会派名 議員名	前橋令明										前橋高志会					共産党		公明党		岷フォーラム		かがやき		七さ赤な													
		横山	新井	小淵	阿部	鈴木	須賀	林	堤	小岩	市村	佐藤	富田	藤江	小曾	金井	笠原	窪田	山田	長谷川	近藤	小林	吉田	中里	石塚	新井	高橋	角田	三森	大澤	岡田	浅井	宮崎	中林	近藤	岡	入澤	
第142号、第146号 第151号、第153号		○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*議長は議決に加わらないため「/」で表示しています。

*会派名:共産党(日本共産党前橋市議会議員団)、公明党(公明党前橋市議会議員団)、七(七星)、さ(さきがけ赤城)、赤(赤利根)、な(なないろ)

意見書

第四回定例会では、意見書案四件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○認知症との共生社会の実現を求める意見書

認知症との共生社会の実現のため、必要な予算措置も含め、行政の体制を一層強化させ、一刻も早い認知症との共生社会を各地域で実現することを国に強く求める。

①地方自治体における認知症施策推進計画の策定において、専門人材の派遣など、適切な支援を行うこと。また、自由度の高い事業展開と予算措置の在り方を検討すること②認知症の人の働きたいというニーズをかなえるため、就労や社会参加を支える体制整備を進めるとともに、相談体制を充実し、本人の状態に応じて、社会の一員として安心して生活できる事業者も含めた社会環境を整備すること③身寄りのない方を含め、認知症になったとしても、一人一人の意思を最大限に尊

重し総合的かつ柔軟に寄り添い支える成年後見制度や身元保証等の在り方について、現状の課題を整理し検討を進めること。また、住まいに課題を抱える方々に対する総合的な相談対応、一貫した支援を行う実施体制を整備すること。

○医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書

介護職員等の賃金水準を確保するための制度改革と同時に、職員の人権を尊重し生活を保障する取組を迅速に推進することを国に強く求める。

①医療・介護・障害福祉分野の賃上げについて、経済対策での処遇改善支援事業を早期に実行すること。その上で、二〇二四年度の同時改定においては物価高騰・賃金上昇等を踏まえ処遇改善を行うこと②新型コロナウイルス感染症による緊急時のサービス提供に必要な介護人材確保のため、手当の支給など、地域医療介護総合確保基金における「新型コロナウイルス感染症流行下における介護サ-

ビス事業所等のサービス提供体制確保事業」の活用を推進すること。

○学校給食費の無償化を求める意見書

全国の自治体はその財政力から学校給食費無償化の実施が困難な自治体もあり、実施している自治体であってもその財源確保に苦慮している実態がある。義務教育における多岐にわたる保護者負担の増大に対処するためには、学校給食費の無償化を子ども、子育て政策に位置づけることも重要である。学校教育の一環としての豊かな学校給食を保障するとともに、全国の私立や特別支援学校などあらゆる学校での給食費を無償とするには、国の財政措置が必要不可欠である。

学校給食費の無償化の実現のため、十分な財政措置を講じることを国に強く求める。

○食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書

食品ロス削減推進法に基づき、誰もが取り組める脱炭素アクションとして、食

品ロス削減への国民運動のさらなる推進のために、次の事項について特段の取組を国に求める。

①エシカル消費の普及啓発を一層進めるとともに、食品ロス削減を積極的に進める事業者の評価や支援の強化を図ること。また、地域や事業者の食品ロスの計測・公表等の体制を拡充し実効性を強化すること②「小分け包装」や、鮮度の保持や賞味期限等の延長につながる容器・包装の改善や工夫の促進、外食産業における小分け提供など、「食べ切り」を積極的に進めるための取組を一層強化すること③企業等からの在庫食品の寄附促進や、フードドライブ（未利用食品の寄附運動）等の利活用で、「もったいない」と「お裾分け」の好循環をつくり、国民運動としての取組を一層強化すること④企業・商店などから提供された食料品等を、地域に設置された冷蔵庫や冷凍庫で保管し、随時必要とされる住民や団体等に提供するコミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）の設

置や運営等への支援制度を整備すること⑤食に関わる事業者と生産者の連携を促し、出荷や加工前に廃棄されている地域の食材を有効に活用する商品開発や消費の拡大などに取り組みむ地方自治体等の事業に対して積極的な支援を展開すること。

議 会 日 誌

昨年十月から十二月までに開催した主な会議は次のとおりです。()内は開催回数です。

- 本会議(5)、総務・教育福祉・市民経済・建設水道常任委員会(2)、ICT利便性向上調査特別委員会(1)、議会運営委員会(7)、各派代表者会議(6)

一 次 回 の 定 例 会

第一回定例会は二月二十九日(木)から三月二十六日(火)までの二十七日間を会期として開催されます。六日(水)は代表質問、八日(金)、十一日(月)には総括質問が行われる予定です。十四日(木)、十五日(金)、十八日(月)、十九日(火)の四日間は各常任委員会の予算審査を行う予定です。会議の様子はインターネット中継でもご覧いただけます。

インターネット中継↓

